



オリジナルバージョン

セッション 13 自己評価

選択問題（合計 10 問）を使用して、セッションで学んだ「施設と社会との間にある障壁の打破」について確認します。

1. 以下の記述のうち、受け入れ期間中の子どもたちをケアする養育者が重点を置くことは、
 - A. その子どもたちは新しい家族グループに馴染むことにすべてのエネルギーを費やすため、できるだけ長い間、その子どもたちを寝かし付けて、他の子どもたちから遠ざけること
 - B. 日常のリズムを与えること
 - C. 衝突を乗り越えられるよう手助けすること
 - D. グループでの居場所と役割をみつけられるよう手助けすること

2. 子どもたちが里親家庭、グループ、または養育者に託されたときに、安全保障と探索のバランスをみつけることは、
 - A. 子どもたちはグループ内にだけ居させて、保護されるべきであるため、不要である
 - B. 安全面に過度に配慮することは有害であり、子どもたちは最低限の時間をグループ内で過ごすべきであるため、簡単なことである。
 - C. 子どもたちは安全基地を形成すべきであるが、地域社会から除外されるべきではないため、重要なことである
 - D. いずれにも該当せず

3. 子どもたちの地域社会への参加を支える最もシンプルな方法は、
 - A. 新しい養育者に毎日会って、一緒に時間を過ごすことである
 - B. 日常の活動計画を調整して、施設外活動を取り入れることである
 - C. 子どもたちが定期的に施設を転々とすることである
 - D. すべて該当する

4. 子どもたちが施設の外へ出かける場合、
 - A. 施設外の人たちによって養育者との安全基地関係づくりが妨害されるおそれがあるため、子どもたちは施設外の人と話したり、知り合ったりすべきではない
 - B. 誰と交流すべきかという基準をもとにして、子どもたちだけで施設外の人たちと自由に交流させるべきである
 - C. 一人だけ交流出来る人を作るべきである
 - D. 偏見を避けるため、施設外の人たちに子どもたちのことを説明して、子どもたちと交流するよう誘うべきである

5. 必需品を購入したり、人々の特徴を説明したり、描いたり、写真を撮ったりするアクティビティは、
 - A. 単なるゲーム感覚で遊び楽しむ、現実味のないこととして、子どもたちが施設内ですべきことである
 - B. 地域社会との溶け込みを目指して、実用的なこととして、子どもたちが施設外ですべきことである
 - C. 子どもたちの社会的能力の発達には何ら影響しない
 - D. 特別な支援が必要な子どもたちは絶対にしてはならないことである



6. 他の施設や里親家庭との親睦会や、他の施設への訪問は、
- A. 形式的なことを最低限にした方法で手配すべきである
 - B. 子どもたちにとって、同じ境遇の子どもたちと施設生活について話し合うことで自分たちの状況を理解する良い機会になる
 - C. すべて該当する
 - D. いずれにも該当せず
7. 施設の子どもたちが制服と普段着のどちらを着るかどうかの意思決定は、
- A. 子どもたちが施設外の子どもたちとは異なると感じることを避けられるため、常に正しいことである
 - B. 施設の子どもたちが他の子どもたちと異なることを感じさせるため、常に不適切である
 - C. 施設の子どもたちがすべきことである
 - D. 地域の習慣に依るけれども、子どもたちが他の子どもたちと何ら変わらないと感じられるものにする
8. 地域の人たちと交流するために出かけたり、地域の人たちを招いたりする活動は、
- A. 子どもたちに、地域社会の活動的な一員であると感じさせる
 - B. 子どもたちが過活動になるおそれがある
 - C. 子どもたちを怯えさせ、それまでよりも地域社会とのつながりが強くなり、一層疑い深くなるおそれがある
 - D. 子どもたちが他の子どもたちとは違うということを認識させることがある
9. 施設で生活することは、それとは異なる環境で生活している他の子どもたちとは何ら変わりはないことと、施設／里親家庭を誇りに思うことを、子どもたちに話すことは、
- A. 自己防衛の仕方を教える方法である
 - B. 子どもたちをなぐさめる方法である
 - C. 家庭外に置かれているという社会的アイデンティティを子どもたちが理解・形成できるよう支える方法である
 - D. いずれにも該当せず
10. 地域から保育士、教師、保健師などの専門家と、施設で仕事の様子、遭遇する問題やその解決を図ろうとする実践などについて意見交換することは、
- A. 新しい養育者が施設との連携を無料で見つける方法である
 - B. 地域の専門家らに新たな養育実践を教える機会である
 - C. ケンカになることがあるため、危険である
 - D. いずれにも該当せず